

2008年 8月 81号

発行：新社会党千葉県本部

千葉県中央区新千葉2-1-1新千葉ビル401

TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864

Eメール sinsya@lily.ocn.ne.jp

ホームページ http://www1.ocn.ne.jp/~nsp/

# 新社会

発行所：新社会党 発行者：栗原 君子

〒104-0006 東京都中央区日本橋富町7-9 京橋興産ビル3F

TEL 03(5643)6002 FAX 03(3639)0150

振り替00140-0-149727 1カ月600円 郵送料1カ月160円

# 新社会ちば

## 銚子市

### 市民生活や健康を無視

### 市立病院の廃止は許さない

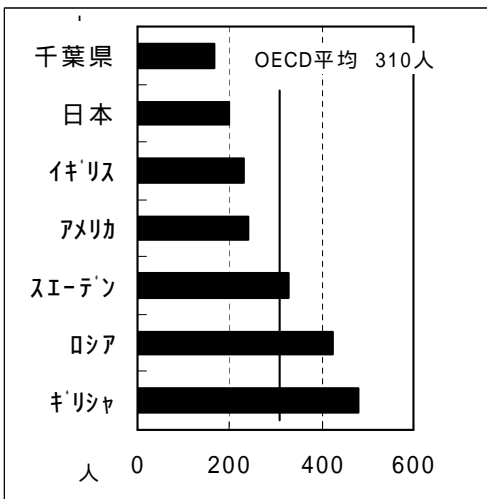
銚子市長は7月7日、突如「市立病院を9月30日をもって休止する」と発表しました。

銚子市長は公約で「病院は残す」としただけに、5月の「広報ちようし」でも「病院は残す」と述べています。

舌の根も乾かぬうちに前をひるがえす市長は許せませんが、なぜこうしたことが起きているのかを見てみます。

#### 少なすぎる日本の医師

国は長年「医者を増やすと医療費が増える」と医師の数を抑えてきました。日本の医師数は約26万人、人口10万人当たりの医師数は1

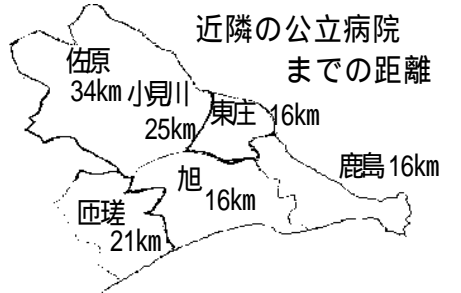


人口10万人当たりの医師数  
千葉県は146人で県別では下から3番目です

銚子市の人口は約7万5千人、60歳以上は2万5千人、全体の33%です。そのうち1割強の3千人が市立病院にかかっています。6月には約6千人(実数)が外来で受診しています。その半数が60歳以上です。子供たちも同じです。小児科は(0~9歳)464人が受診しています。この世代の1割です。銚子市の08年予算総額は488億円です。

#### 病院がなくなれば 増える支出もある

市長は「病院の9億円の赤字を一般会計から補填し続ければ市が倒産する」といっています。



この中には民生費64億円や国民健康・介護保険など市民生活を守る支出が当然含まれています。高齢者が病院から追い出され家族が抱え込めば働き手が職場をやめて介護しなければならなくなる。十分な介

ある病院職員はこう述べています。「神経科は6月では約1000人(実数)が外来で受診しています。(これは一ヶ月の数で実際はもっと多い)。この内訳は銚子市民が70%です。この病気が薬をきちんとかみ続けることが大事です。私たちは、患

者さんが病院に来なくなると手分けして家庭訪問を行い、市役所の他部門とも連携し治療を続けるよう援助をしてきました。近隣に精神神経科は旭・匝瑳・小見川・成田・鹿島にしかありません。各病院とも精神科の医師が不足しています。どれだけの患者さんを受け入れてくださるか、最大限協力していただいても心配は残ります。すべての人が通えるでしょうか。交通費は最低でも1000円はかかります。治療の継続が困難になり、治療が途絶えた時、これらの病院では



### 憲法を活かす会・県協 第6回総会を開く

憲法を活かす会・千葉県協議会は、7月13日、第6回総会を千葉市民会館で開催しました。総会では、「平和への大結集・千葉」の井村弘子さんなどから来賓挨拶を受け、議事に入りました。35名の参加者は一年間の総括を行い、持ち寄った各地区の総会議案をもとに経験交流し、世話人に広瀬理夫、堀廣士、村松七郎さんを再選しました。

**お気軽に「労働相談室」へ**

毎月第4土曜日 午後2時~5時

電話 043(221)2525

●左記の労組でも相談を受けています●

東葛ふれあいユニオン 047(370)9393 常時

市原ユニオン 0436(21)5473 第3の土・日

私たちは「原爆許すまじ」を誰に對して言っていくのか。アメリカが日本政府が、また世界の原爆所有国が、核廃絶や戦争ノミを実現する道筋が見えないという真面目な意見だ。確かに加害者としての戦争を問い直す運動がもっとあってもよい。戦争への本當の反省がそこから生まれ、日本が変わると思うからだ。

#### 展望

県内各地で恒例の「原爆の展覧」が始まった。原爆の体験を伝え、戦争を再び起こさないようにしようとするものだ。だが最近、気になった。原爆の辛さによく分かるが、それ以上に日本は他国に加害行為を行った。被害だけを強調するのはいかなるものか、という意見だ。確かに日本の戦争責任はいまいなままだ。何せ、戦時の責任政党が今も政権政党なのだから。だからといって、加害と被害を相殺することは許されない。もうひとつは、「原爆許すまじ」を誰に對して言っていくのか。

# 原子力空母は来るな

## 母港化に反対し 横須賀で集会開く



憲法を活かす会の会員もデモ行進に参加

7月19日に、横須賀で原子力空母の母港化に反対する集会がおこなわれ1万5千人が参加しました。集会後、原

子力空母はくるな」と訴え横須賀市内をデモ行進しました。原子力空母の原子炉は電力会社の発電炉に換算すると40万kWに相当します。この原子炉が3千万人が住む首都圏にくるので、原子力艦船の放射能漏れは明らかになっただけでも50件を超えています。アメリカの空母の原子炉が緊急停止したり、イギリスの原子力潜水艦が炉心溶融(メルトダウン)直前の事故を起こしています。もし、こうした事故が起こったら120万

人から160万人が死亡すると推定されています。原子力空母の危険性は次の点が指摘されています。狭い船体内で炉心設計に余裕がない。放射能防護のための格納容器が不十分。船の中で絶えず振動衝撃にさらされる。海難事故による破損の可能性。軍事活動のため無理な出力を強いられる。(原発では最大出力に達するまで50時間をかけるが空母は1分で行う) 交戦による原子炉の

### 一読をお勧めします

#### 「横堀正一における理論と実践」

新社会党千葉県本部の書記長や千葉県高等学校教職員組合の委員長など千葉県の運動をリードしてきた横堀さんを偲び、活動を紹介する本です。千葉県の仲間の手で発行されました。 800円

#### 「信念は曲げず」 山口哲夫 著

新社会党を結成し、長く書記長を務めた山口さんが、組合役員、釧路市長から新社会党時代までの活動を振り返り、人間としての生き方を呼びかけています。 1900円



師範学校女子部の記念碑

千葉駅近くの鉄道施設では、職員や学徒動員の学生23名が犠牲になりました。市全体では死傷者は391名、被災家屋415戸でした。7月7日には、129機が市街地を目標に焼夷弾1万124発、爆弾159発を投下、被害は、千葉市の中心部から椿森・小仲台の軍事施設にも及び死傷者1204人、被災家屋8489戸でした。こうした戦災で被災した人は約4万人(当時の千葉市の人口は人口は11万人なので3人に1人)にもなります。県内には多くの戦跡があります。この夏、一日を身近な戦跡を訪ねてみませんか。

### 本の紹介



千葉県の戦跡を紹介する本では「千葉県の戦争遺跡をあるく」(千葉県歴史教育者研究会者協議会編・図書刊行会、2100円)などがあります。県内を18の地区にわけ、地図と所要時間、戦跡の説明がセットで紹介されています。

佐倉市では、私たちが要求してきた「健康子ども部」が今年4月に新設されました。「子どもにかかわる



富塚忠雄市議



勝田治子市議

頑張ってます  
議員団活動

# 青少年の健全育成 機能の充実へ一歩前進

## 佐倉市

諸課題は教育委員会や学校だけでは対応できない現状があるので『子ども部』のような庁内組織を立ち上げ、青少年の健全育成機能の充実をすべし」と、新社会党が求めているものです。

保健衛生、スポーツ、子育て支援の事務、さらに「児童少年課」が設置され、子どもから大人まで心身に健康的な家庭生活を総合的に

支援しています。さらに地域での子育て支援体制の充実が必とされていることから、行政側の連携策の取組を求めています。

6年生まで学童保育へ  
学童保育所については現在、公立16ヶ所、私立5ヶ所に設置されています。新社会党は「23の全小学校に設置し、

6年生まで拡大すべき」と主張してきました。その結果、少子化対策及び仕事と子育ての両支援策として補正予算が組まれました。3校に新設され、過大規模となっていた3校が増設されることになりました。いずれの

学校も2教室を使い10月1日に開所される予定です。これにより定員が300人増え23校中21校に27施設が完了することになりました。また、すべての施設で6年生まで拡大することが確認されました。

市立保育園の増設を求める  
保育行政の柱である

保育園は公立8園、私立8園が設置されています。保育需要の拡大と待機児童の解消のために増設を求めています。しかし、国の三位一体改革により保育園への補助金削減の影響は大きく佐倉市は「市立」に代えて市有地を活用して民設民営の保育行

政の方針で「公立保育園のあり方検討会」を設置し、公立のメリットについて検討するとしています。財政の健全化を理由に市の施設が市場化され競争と格差を生む仕組みに向かっています。保育園の民営化に反対し市民とともに活動を強めます。

国鉄民営化での不当差別  
撤回求める署名にご協力を  
国鉄の民営化から22年になります。民営化時に、不当な差別でJRに採用されなかった1047名は差別的撤回を求め闘い続けています。この間に50名近くの方が他界するなど、被解雇者と家族の苦悩は

想像を絶するものがあります。国労は不採用問題の早期解決を求めて署名運動を取り組んでいます。ご協力ください。

身近な戦跡  
千葉駅前の大通りに、師範学校女子部を記念する記念碑があるのをご存知ですか。京葉銀行前の歩道脇にひっそりと存在しており、今も、学友を亡くした方々が守っています。千葉市は5月8日、6月10日、7月7日と3回の空襲を経験しました。

6月10日の空襲は27機の爆撃機が日立航空機(現在のJFE)を目標に攻撃し250kg爆弾を577発投下、しかし、目標をそれた爆弾が蘇我や富士見等にも落下、師範学校でも生徒8人、教師1人、職員1人が犠牲になりました。

千葉駅近くの鉄道施設では、職員や学徒動員の学生23名が犠牲になりました。市全体では死傷者は391名、被災家屋415戸でした。7月7日には、129機が市街地を目標に焼夷弾1万124発、爆弾159発を投下、被害は、千葉市の中心部から椿森・小仲台の軍事施設にも及び死傷者1204人、被災家屋8489戸でした。こうした戦災で被災した人は約4万人(当時の千葉市の人口は人口は11万人なので3人に1人)にもなります。県内には多くの戦跡があります。この夏、一日を身近な戦跡を訪ねてみませんか。

千葉県の戦跡を紹介する本では「千葉県の戦争遺跡をあるく」(千葉県歴史教育者研究会者協議会編・図書刊行会、2100円)などがあります。県内を18の地区にわけ、地図と所要時間、戦跡の説明がセットで紹介されています。